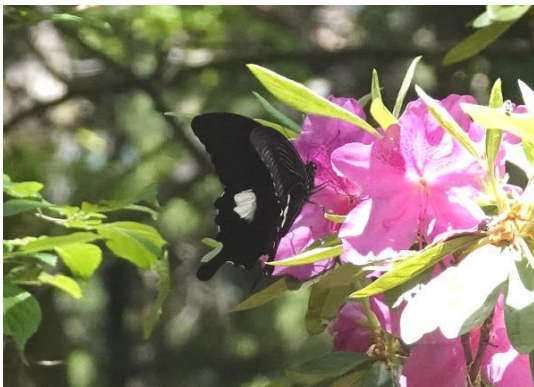


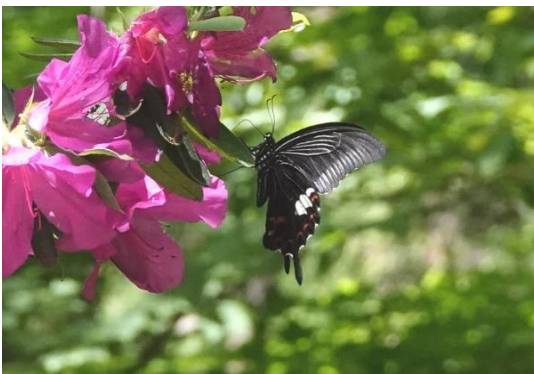
和名	分類	特徴ほか	会える場所			
			ハイム	多摩川土手 (中野島周辺)	生田緑地	その他
モンキアゲハ	アゲハチョウ科	後羽の大きな黄白色の紋	X	X	○	全国



生田緑地枳形山山頂 5月初旬 テリトリーを張る



高尾山山頂 5月中旬 オオムラサキツツジで吸蜜



高尾山山頂 5月中旬 オオムラサキツツジで吸蜜



高尾山中腹 7月下旬 ヤマユリで吸蜜

成虫発生時期 (月)											
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
食草 ○ 食樹						発生回数/年		越冬形態			
カラスザンショウ、ミカン類						3		蛹 (サナギ)			

大型のアゲハチョウで後羽に大きな黄白色の丸い紋があるので飛んでいてもすぐにわかります。生田緑地でモンキアゲハを見るようになってずいぶん時間は経ちますが、個体数はそれほど多くはなく、急速に増えてハイム内でも見られるようになったナガサキアゲハと比べて何が原因で差が出ているのかはよくわかりません。個人的には他のアゲハチョウ以上に、山頂に集まる傾向が強いという印象を持っています。沖縄にはこのモンキアゲハとよく似たアゲハが二種います。シロオビアゲハ（黄白色紋が丸い塊でなく帯状に伸びる）、ベニモンアゲハ（羽に赤い紋が追加され胴体も赤い。因みに食草はジャコウアゲハと同じウマノスズクサでモンキアゲハとジャコウアゲハを足したようなアゲハチョウ）です。



シロオビアゲハ 宮古島 (伊良部島) 3月下旬



ベニモンアゲハ 宮古島 (新城) 3月下旬



高尾山中腹 7月下旬 ヤマユリで吸蜜



高尾山中腹 7月下旬 赤い花粉にまみれながらヤマユリに飛来